

# 社外重役

Selected Clients &amp; Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド  
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F  
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439  
 大阪支社)大阪府北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F  
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

F P

## 「投資より貯蓄」傾向が続く家計 投資家比率はシニア6割、若年層4割

日本証券業協会の2015年調査によると、15年の個人投資家比率は60歳以上のシニア層が過半数の56%、前年より5ポイント増えた。年収をみると、300万円未満が48%と最も多く、約7割が年収500万円未満で、前年より微増した。

株式保有額は「100～300万円未満」が33%と最も多く、73%が保有額500万円未満。同協会はシニアの個人投資家の増加は嬉しいが、若年層が約4割と上向かないのが悩みだという。

日銀が3月に発表した資金循環統計(2015年10～12月速報)では個人(家計部門)の金融資産残高(12月末)は1,741兆円。1年前と比べ29兆円増(1.7%)と過去最高。内訳は株式等が169兆円(前年比5兆円増)。対する現金・預金は902兆円(同12兆円増)と後者が圧倒する。「投資より貯蓄」傾向は、日本人の特質で生活設計に深く刷り込まれているようだ。

国民の多くは、現経済の雇用増や所得増は認めるが、消費増や投資増には踊らされる気分にはなれないようだ。金融機関等シンクタンクは「長期の低金利で現金の運用先がみつけない」、「マイナス金利導入で不安は増幅している」とみる。

タンス預金も増えた。日銀は「マイナス金利の名称は響きが悪い」と反省しきりだが…。カゴメ等の上場企業は現状打破に若年層向けのIR活動に力を入れ始めたのは朗報かー。

税務会計

## 2016年分路線価は8年ぶりに上昇 日本一は31年連続で銀座「鳩居堂前」

全国の国税局・税務署において、相続税や贈与税の土地等の課税評価額の基準となる2016年分の路線価及び評価倍率が7月1日に公表された。今年1月1日時点の全国約32万8千地点における標準宅地の前年比の変動率の平均は0.2%(昨年▲0.4%)とわずかながら上向き、8年ぶりの上昇となった。

都道府県別の路線価をみると、標準宅地の評価基準額の対前年変動率の平均値の上昇率が「5%未満」の都道府県は、昨年分の1都2府7県から1都2府11県の計14都府県に増えた。下落率が「5%未満」の都道府県は昨年の35道府県から33道府県に減少し、下落率が「5%以上」の都道府県は昨年に引き続きゼロとなった。路線価が8年ぶりに上昇した要因には、金融緩和等の後押しもあり不動産向け投資が拡大したことや、訪日外国人の増加を見込んだ店舗・ホテル需要の高まりなどがある。

都道府県庁所在都市の最高路線価では、1位は東京・中央区銀座5丁目の「銀座中央通り」で、1平方メートル当たりの路線価は前年から18.7%上昇の3,200万円となった。以下、大阪・北区角田町の「御堂筋」1,016万円(増減率+22.1%)、名古屋市市中村区名駅1丁目「名駅通り」840万円(同+14.1%)、横浜市西区南幸1丁目の「横浜駅西口バスターミナル前通り」781万円(同+9.5%)と続く。

路線価日本一は、31年連続1位となる東京・銀座「鳩居堂前」(1平米3,200万円)で、新聞紙1枚当たり約1,411万円となる。

### 今週のキーワード

IR  
(投資家向けの  
広報活動)

IRの最近の特徴は長期保有の株主を増やし、経営の安定につなげる狙いで若年層の投資家を株主にしようとする動きが活発。食品のカゴメが今年度からIRセミナーを原則として親子参加型にする。第1弾として今夏に親子での参加を前提とした株主向け工場・農場見学会を開き同社の事業への理解を深めてもらう。ヤマハ発動機は平日の夜や週末に個人向けIR説明会を開き、子育て世代の発掘を目指す。カヤックは株主を会社行事の合宿に招待する。同社の経営方針などスマホゲームなどを主力とする若い株主層にマッチした「面白カヤック」ならではの広報を行う。